

HACKER SAFE

Webサイト・セキュリティと個人情報保護は万全ですか？



個人情報漏洩保険付き!!

HACKER SAFE (ハッカーセーフ) は、自動リモートスキャンにより、Webサイトにおけるセキュリティ上の欠陥の有無を毎日検査し、サイトに**HACKER SAFE**証明マークを表示することで安全性を証明するセキュリティサービス製品です。

HACKER SAFE 安全証明サービスを導入すると、Webサイトを構成するすべてのサーバー (Web、アプリケーション、データベース、DNS、メール)、Firewall、ルータ、IDS、スイッチ機器などのデバイスに対し、あらゆる既知の脆弱性に関する完全自動リモートスキャンを実行し、安全性を検査します。Webサイト側で特別なハードウェアやソフトウェアを導入する必要はありません。

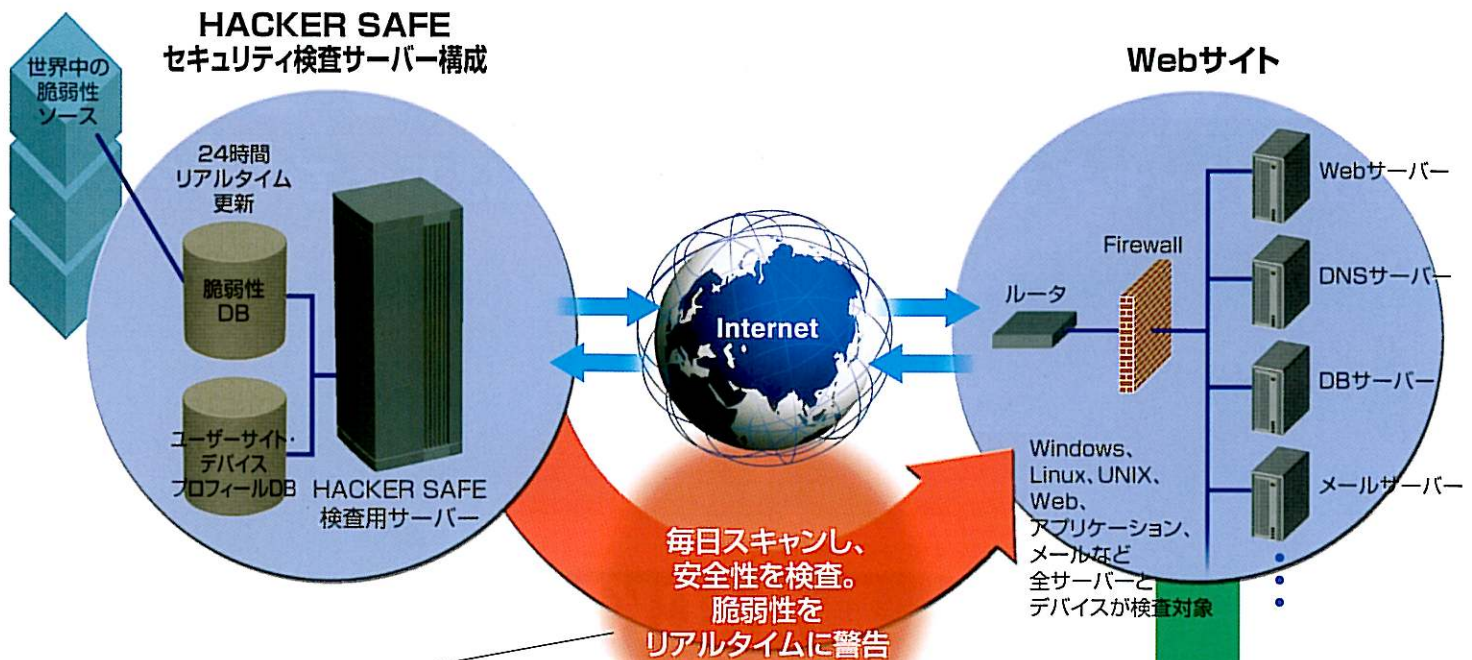
検査の結果、脆弱性の欠陥がなく、安全が確認されると、Webサイトに対し「HACKER SAFE 安全証明マーク」が発行されます。アクセスするユーザーはこの安全証明マークを目にすることで、貴社サイトが最高レベルの安全性を備えていると確信できる仕組みです。

ハッカーの侵入、および個人情報やクレジットカード情報などのデータ漏出・盗難の99.9%が既知の脆弱性の攻撃によるものです。HACKER SAFE が実行する自動リモートスキャンには、全体で10,000項目以上の脆弱性検査が含まれ、米国トップレベルのセキュリティサービス専門機関により365日実行されます。

HACKER SAFEの特長

- 全世界で70,000サイト以上に導入 (2006年1月現在)。
- SANS/FBIのインターネットセキュリティ脆弱性トップ20項目に準拠。
- VISA、MasterCardが義務付けているネットショップセキュリティの必須要件 (PCI) を満たしており、審査免除。
- 第三者専門機関 (HACKER SAFE) が毎日検査し、証明することで高い信頼性を保証。
- 米国、日本および主要国ビジネスモデル特許 (#10/113 875pending) の最新セキュリティソリューション。
- WebサイトにHACKER SAFE安全証明書マークが表示されている場合、個人情報漏洩保険を自動付帯 (*注)。
- HACKER SAFE安全証明書マークが表示されたネットショップで、売上が平均15~30%増加の実績。

HACKER SAFE セキュリティ検査サービスの仕組み



各種サーバーやデバイスに関して10,000以上の検査項目を実装。脆弱性発見時はその詳細と修正パッチ情報を専用管理サイトよりレポート。24時間防衛警告。

HACKER SAFEの検査する脆弱性の例

バックドア	リモートファイルアクセス
リモートコントロール	全TCPポート
トロイの木馬プログラム	RPC
ブルートフォース攻撃	SMB/NetBIOS
CGIとFORM処理の脆弱性 (SQLインジェクションを含む)	ICMP
デフォルトパスワード	HTTPサービス (クロスサイトスクリプティングを含む)
データベースサーバー	SNMP
マイクロソフトのバージョン	SMTP
UNIXとLinuxのバージョン	UDP
eメールサービス	FTPとTelnet
ニュースとチャットサービス	SOAPとその他のXMLサービス
リモート管理アクセス	ルーターとロードバランサー
リモートデータベースアクセス	Firewallとアドレススイッチ



HACKER SAFEテクノロジーの特長

24時間リアルタイムに世界の数百のソースから収集する既知の脆弱性を基に、あたかも「スーパーハッカー」がハッキングするのと同様の技術でチェック

Webサイトのポート構成からアプリケーションの脆弱性 (SQLインジェクション、クロスサイトスクリプティングなど) まで、本番環境に影響を及ぼさずにチェック

発見された脆弱性の詳細と修正パッチ情報を、Web上のわかりやすいGUIレポートとしてWebサイト管理者宛てに提供するので、迅速な欠陥修復が可能

Webサイト上のHACKER SAFE安全証明マークは脆弱性発見通知後、72時間以内に修正された場合に限り継続して表示

Webサイトにソースを組み込むことで売上分析を行うことが可能 (要追加料金)

(*注) HACKER SAFEには、AIU保険会社が提供する個人情報漏洩保険が付帯されています。補償範囲、保険適用条件等は以下のとおりです。

1. 補償範囲 HACKER SAFE契約者のWebサイト上にHACKER SAFE証明書が表示されている間に、当該Webサイトに対する不正アクセスが発生し、HACKER SAFE契約者が管理する個人情報が漏洩した結果、日本国内でHACKER SAFE契約者に対する損害賠償請求がなされた場合、法律上の損害賠償金および争訟費用が補償されます。

2. 補償限度額および自己負担額 HACKER SAFE契約者ごとに、保険期間中で500万円を限度 (争訟費用を含む) に補償されます。ただし損害賠償請求者1名につき1万円を限度、また自己負担額は、HACKER SAFE契約者ごとに1損害賠償請求につき10万円となります。

* 詳細はWebサイト (<http://www.sct.co.jp/products/hackersafe/hoken.html>) をご参照ください。

お問い合わせ

国内総代理店

SCT
SANWA COMTEC K.K.

三和コムテック株式会社
東京都港区六本木3-4-3 三和ビル 〒106-0032
Tel: 03-3583-2518 Fax: 03-3583-2387
<http://www.hackersafe.jp>

代理店